

2年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に音読に取り組むことで、言葉に着目して、文章を読むことができるようになってきた。 ・文章を読んで、内容や感想などを伝え合うことができるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「はじめ」「中」「終わり」の組み立てを考えて文章を書くことができる児童とできない児童の差が大きい。 ・句読点などの書くときのきまりが定着していない児童が多い。 ・漢字の読み書きや自分の考えを書くことに個人差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の学習過程における各段階、つまり「書きたいことを見付ける」、「メモにする」、「メモを基に組み立てシートを書く」「作文にする」を丁寧に指導し、書く力を高めていく。 ・自分の考えを書くときは、視点を与えるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・長さやかさなどの数量関係を理解するために、具体物を用いたことで、量感を身に付けることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎的な計算技能が身に付いていない児童が多い。 ・学習の定着度合いの個人差が大きい。 ・課題を早く終えようとして、確認が不十分なところがある。 ・時計が読めない児童が8割程度いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な計算技能や、時計の読み方などを算数の時間だけでなく、生活の中でも触れられるように工夫していく。 ・タブレットドリルやミライシードを活用して復習に取り組みさせる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・花や野菜の栽培、生き物などを大切に育てたいという思いをもつことができた。 ・1年生との学校探検を行うことにより、責任感をもって学習に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎育てている花や野菜の栽培、生き物などに対して自分の思いや考えを自由に表現したり、気づきを深めたりすることに個人差がある。 ・やる気をもって活動する児童と活動の目的を意識せずに活動が始めてしまう児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動目的を全員が明確にもつことができるように、導入時に丁寧に説明する。また、活動に対する意欲を高めるために、児童の思いや願いが生きる場面を各單元の中に取り入れるなどの工夫をする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に歌ったり体を動かしたりして、楽しさを感じながら音楽活動ができる児童が多く見られる。 ・拍のまとまりを感じながら、正しくリズム打つことができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎周りの音に合わせて演奏したり、拍の流れに乗って楽器を演奏したりすることが難しい児童がいる。 ・音楽から聴き取ったり感じ取ったりしたことを、言語で表現することが十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拍子を感じ取る学習を充実させる。リズム学習を取り入れたり、体を動かしたりすることで拍感を身に付けるようにする。合奏をするときは、伴奏や打楽器の音をよく聴いて、周りの音に合わせて演奏できるようにする。

<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> 説明をよく聞いて、落ち着いて取り組むことができる児童が多い。 自分なりの思いをもって、最後まで楽しく取り組むことができる児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達と仲良く活動できる反面、自分だけのアイデアをもって工夫することが難しい児童がいる。 ・自分なりの思いはあるが、それを表すことが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作の過程の中で、個々の児童へのひらめきや表現を肯定的に受け止め、称賛する声掛けをし、自分らしさへの自信につなげていく。
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすことを楽しんで取り組むことができている。 水遊びの学習では、意欲的に取り組み、水の中にもぐったり、浮いたりできるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動経験に差がある。 ◎自分で運動に対する工夫を考え、友達に伝えることが難しい児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードに自分や友達のよさを記入する欄を設け、記入させる。また、授業の中で運動を見せ合う場を作り、互いのよさに気付かせるようにする。